

20 年度地域密着型金融推進計画 取 組 み 状 況

平成 20 年 4 月～21 年 3 月

《 重点事項および具体的目標 》

	平成 20 年度目標	平成 20 年度実績
1. 取引企業先に対する経営相談・支援機能の強化		
○ 帯同訪問による融資	20 件 2 億円	41 件 4 億円
○ 地元優良企業に対する低金利の無担保特別融資の取組み	1 件 10 億円	1 件 6 億円
2. 事業再生に向けた積極的な取組み		
○ 病院再生による DIP ファイナンス	2 先 10 億円	1 先 1 億円
3. 担保・保証に過度に依存しない融資推進		
○ スコアリングによるビジネスローン及び個人事業者向ローンの取組み	30 件 2 億円	147 件 2.5 億円
4. 中小企業の資金調達手法の多様化等		
○ 債権（売掛金）譲渡担保融資	3 件 1 億円	3 件 8.5 億円
○ 保証協会付融資	528 件 42 億円	676 件 58.5 億円

以上

《 地域密着型金融推進計画の要約 》

項 目	具 体 的 な 取 組 み
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	
(1) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	
① CRD による経営診断の利用	● CRD によるスコアリング分析を利用することにより、取引先の経営改善項目を明確にし、企業価値を高める活動を行なっております。
取 組 状 況	● CRD によるスコアリング分析を活用したことから、表面的な財務状況（赤字、債務超過）のみに捉われることのない貸出審査の判断基準に基づき取引先の支援を行ないました。 また、CRDにより当組合職員の財務分析のスキルアップも図れており、取引先の企業価値

（成協信用組合）

			を高める経営指導にも積極的に取組んだ結果、取引先の経営改善に寄与することができました。
	(2) 経営改善支援の取組強化		
	① DIP ファイナンスの活用		● 地域経済を活発にする原動力である病院等の再生に向けた取組みを行ないます。
	取 組 状 況		● 病院再生DIP ファイナンス支援実績 1 先、支援額 1 億円でありました。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
	(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の徹底		
	① スコアリングモデルの活用		● 無担保および第三者保証の不要なビジネスローンの活用を行ないます。
	取 組 状 況		● 平成 20 年度の実績は 6 件 8 千万円でありました。
	② 個人事業者向ローンの推進		● 個人事業者に向けたローン(保証付)の取組みを行ないます。
	取 組 状 況		● 平成 20 年度の実績は 141 件 1 億 7 千万円でありました。
	(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底		
	① 債権（売掛金）譲渡担保融資の活用		● 売掛金債権を担保とする融資の活用を行ないます。
	取 組 状 況		● 平成 20 年度の実績は 3 件 8.5 億円でありました。
	② 新規融資案件相談窓口の設置		● 金融の円滑化を図るため新規案件の申込に対し取組方針を即日回答しています。窓口を開設して以来、かなりの実績と取引先の評価を得ていることから、今年度も引き続き取組みを行ないます。
	取 組 状 況		● 平成 20 年度の実績は 受付 192 件 39,856 百万円 実行 118 件 20,317 百万円でありました。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
	(1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供		● 利用者満足度アンケート調査の継続的な実施により、地域の利用者の資金ニーズや金融商品等の要望を集積し、商品開発等を行い地域経済

		への貢献を行ないます。 ● 地元商工会議所（東大阪市、松原市、藤井寺市、河内長野市、大阪狭山市、柏原市、羽曳野市、富田林市、大東市、堺市、堺市美原）との連携による会員への金融商品を継続して提供しております。
	取 組 状 況	● 高金利商品の要望多く、小口定期預金金利上乘せキャンペーンを実施致しました。 ● 平成 20 年度は成果に結びつく事は出来ませんでしたが、今後も各営業店の地元商工会議所との連携を図り融資推進を行ってまいります。
4. 地域の利用者ニーズに応じた経営資源の投下状況		● 平成 16 年より、地銀出身の 2 名、平成 19 年 4 月に地銀出身の 1 名を採用し、合計 3 名で渉外担当者との帯同訪問による事業所開拓活動を行ない、融資等の取組み推進を実施しております。 ● 担保・保証に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、財務分析能力向上の内部・外部の研修に積極的に参加しております。 ● 債務者については、アウトソーシング（帝国データバンクの企業概要資料の購入）を活用し融資推進に活用しております。
	取 組 状 況	● 平成 20 年度の帯同訪問による事業所開拓実績 41 件 4 億円でありました。 ● 担保・保証に過度に依存しない融資を推進すべく人材育成を図るために、財務分析能力向上の外部の研修に参加させました。 ・ 融資渉外研修会に 19 名 ・ 財務分析基礎研修会に 19 名 ● 債務者については、アウトソーシング（帝国データバンクの企業概要資料の購入）を活用しております。
5. 態勢の整備		
	(1) 人材の育成	● 総務部を主担部とし、全国信用組合中央協会研修所・大阪府信用組合協会において開催する研修に職員を派遣しております。
	取 組 状 況	● 大阪府信用組合協会主催の研修会 ・ 新入職員研修会 21 名参加 ・ 内部事務リスク管理研修会 19 名参加

		・税務研修会 18 名参加 ・債権管理回収研修会 15 名参加 ・融資渉外審査能力強化研修会 18 名参加 上記の研修会に 91 名を参加させ、業務に関する能力の向上をはかりました。
	(2) 外部専門家との連携	● (株)ネット M&A コンサルティングファームと連携し「企業再生プロジェクト」による再生支援を実施し成果を上げることができました。今後も、再生企業があれば連携し再生を取組んでまいります。
	取 組 状 況	● 平成 20 年度は「企業再生プロジェクト」による再生支援企業はありませんでしたので、成果を上げることができませんでした。
6. 中央機関・業界団体が有する各種業務支援・補完機能の活用状況		● 平成 17 年 4 月に「しんくみ生活総合センター」創設によるインターネットを活用した業界独自の情報提供システム「あのねット」の活用による組合員向け家計診断や企業向けビジネスマッチングの機能の活用を図ってまいります。 ● 大阪府信用組合協会の発行誌「しんくみビジネスサポート」掲載企業の参加による「第 1 回異業種交流会」を開催し、参加企業・経営者より好評を得ており、20 年度も「第 2 回異業種交流会」（11 月開催予定）に参加し、ビジネスマッチングに活用を図ってまいります。 ● 平成 20 年度は大阪府中小企業信用保証協会の責任共有制度も含め、講師派遣による研修会を開催予定しております。
	取 組 状 況	● 組合員向け家計診断及び企業向けしんくみの「あのねット」の活用に向けて取組んでまいります。 ● 平成 20 年 11 月 7 日第 2 回異業種交流会を開催、信組 7 組合から 52 社の経営者 56 名と各組合役職員 40 名で参加企業の自社製品のプレゼンテーションが行われ販路拡大先を求め盛んに交流会が催され成功裏に終了致しました。 ● 大阪府中小企業信用保証協会の責任共有保証及び緊急保証を含めた実績は 676 件 58 億 5 千万円でありました。